

かがやき

令和3年 5月31日(月)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 3

「かがやき教室と先生紹介」

今年も4月のスタートと同時にかがやき教室と先生の紹介を行いました。かがやきでの指導は担当の児童以外にも、各教室の授業や教室での学習活動の中にも入って指導する場面があります。どんな先生がいるのか、「かがやきの先生」ってどんなことをしてくれるのか。簡単に子どもたちに紹介をして回りました。今回は先生の名前と先生の好きな物をアイコンとして、FN先生にイラストを描いてもらい、まずは名前を覚えてもらいました。次に、かがやき教室で勉強(指導)している内容について話をしました。人には得意な事と苦手な事があること。それは自然であること。また、生活や勉強の中に、困っていることがあるときに「相談」し合いながら自分の方法や見方を知っていくことを伝えました。今回のようにかがやきの先生のことを知っておいてもらうと教室に入る時の雰囲気が全然違うと思います。どの子ども元気に「かがやきの～先生だ!」と声をかけてくれると同時に、小さな声で「こどうすればいいの?」と聞いてくる子もいます。各学年のクラスとの全体的な関係を作っていくことで、一人一人の必要な相談をしやすい空気も生まれてきます。「かがやきの先生」が教室にいる風景が子どもたちにとってさらに自然なものとして溶け込んでいけるようにしていこうと思います。

「個別指導・小集団指導の中で出せる自分」

5月に入り、かがやきでの指導が本格的にスタートしました。子供たちも自分の個別指導や小集団指導の予定も少しずつ覚えたり各担当の先生とのやり取りにも慣れてきたりしています。「慣れ」にはいろいろなタイプのもがあると思いますが、個別指導や小集団指導においての「慣れ」で大切にしたいと感じている1つが、「安心して自分のことを出せる」慣れです。これは一番難しいものですが、他の人と何かを共有することで「何かよかった」と思えるスキルにぜひつながっていきたいと考えています。良いことも良くないことも、自分の言葉で出せることで自分の気持ちが整理できる。個別指導や小集団指導の中でそんな信頼関係をしっかり築いていきたいと思っています。

「気持ちの言葉でのやりとり」

運動会が終わり、子供たちにも感想を聞いていきました。楽しかった子も、そうでない子もそれぞれ自分の思いがあることがわかります。またそもそも運動会が嫌いな子もいます。ただ、話を細かく聞いていくと微妙な気持ちが隠れていることがあります。「徒競走は1位だったけど、自分の走るフォームが気に入らないから・・・」「ダンスは上手にできた。でも最後の決め!ができていなかった」「勝負には勝ったけど団体競技の内容には納得いかない」等々。そして必要に応じてそこに合う気持ちの言葉を補います。「くやしかったね」「満足できたんだね。」「うれしかったけど、ちょっと残念な気持ちもあるんだね」。子どもたちの中では自分の一部分の評価で運動会全体の評価が0か100(つまらない・おもしろい)になってしまうこともあります。そこに気持ちの言葉を挟むことで自分の気持ちの微妙なニュアンスが伝わりやすくなります。こうした振り返りを繰り返しつつ、日々の学校生活の中でも、「気持ちの言葉」で伝えられる場面がさらに多くなっていくと良いなあと感じました。

***お知らせ・・・6月8日(火)より個人面談が始まります。日程の決定通知を近日配布いたしますのでご確認ください。**